

【家族】

その他 変化はありましたか(日常会話・様子等)。

3	家族それぞれが介護疲れから日常生活、日々の会話にゆとりがなく、ピリピリした状態であった。
5	H18年11月体調が悪くなり、仕事を辞めざるをえなくなった。今後グループホーム入所が続けられるか不安である。自宅介護でも施設入所でも家族にとっては精神的、経済的に楽になることはない。
6	やさしく頼りにしていた夫が別人のようになってしまい、夫婦の関係が変わってしまった。勝手に庭の木を切ってしまう、怒ったら、「殺される」と近所に聞こえる声で言われ、ショックだった。
7	日に日に人が変わっていくようで、かわいそうでならないが、今後どうなっていく、自分がどこまでみられるのか、心配である。
8	話している間に内容が急に変わる。同じ行動を繰り返す。一つのことにこだわり、物や動作を繰り返す。急に激怒する。
9	病気の進行が早く、発病から5年ぐらいで何を言っているかわからなくなり、3年前から歩行ができなくなり、全面介護になった。
10	部屋がきれいになり、障害者手帳などの申請もしてもらった。
15	現在デイに行くのを楽しみにしており、日時を覚えていないときがあるが、行くということでカレンダーを見て認識しているようである。
16	本人とは話が通じないため、だんだんと会話は少なくなった。
19	混乱することが多く、会話は難しい。感情的になる。
21	徐々に進行している。最近はハンドバッグやバッグに衣類・手ぬぐい・日用品をいっぱい詰めて、外出のときは全部持っていこうとする。朝起床し何を着てよいかわからない、風呂で着衣をぬごうとしない、食後の食器洗いも途中でやめる、など中途半端な状態で終わることが多くなってきている。
24	一時は言動が粗暴な時期もあったが、最近はおとなしい。
25	親戚(夫)から他の家に比べたらまだましだと言われることがつらい。 夫は介護5で全介護が必要だが、日常のことをわかってもらえない。
26	イライラしてストレスがたまり気味。
27	子どもはいやがって相手にしないが、暴れるときのみ止めに入る。要介護度が進むにつれて、出番は少なくなるが、本人のできないことの多さ(立てない)で、手を貸してくれることはある。
28	本人との日常会話が全くできないので毎日が寂しい。食事の世話、排泄物の処理等の負担が大きい。
29	直前のことをよく忘れる(本人)。
30	歩行困難
32	家族構成がわからないときがある。結婚していないと思っているときもある。 仕事を定年退職しているが、いまだに仕事に行かなければと思っている。
33	言語障害(言葉が少ない)、口腔障害(急に歯が抜け出し、食物の食い込みが十分にできず残す)、 排尿排便処理 以上の点に現在困っている。
34	・鏡を見ると「誰だ」、ガラスに映る自分を見て「誰がいる」と言ったり、頭を下げて話していたりするので、家の中の鏡は紙を貼ったり、とったりしている。テレビにも布をかけてスイッチを消す。 ・人前でズボンをあげてやったり、靴が違うことをなおそうとすると、まだプライドはあるようで、嫌がって後を向いて怒る。
37	本人の精神状態は落ち着いてきた。
38	発症後の本人の言動面の変化を周囲が理解するのにとまだとことが多々あった。
40	本人に対しての日々の小さな不満を各々が言い合って笑い飛ばしている、家族の絆は深まっていると思う。
41	今までできたことがどんどんできなくなる。見ていてつらいことがいっぱいある。
42	たまに失礼な言葉を話すことがある(腹立ち紛れに)ので、びっくりする。

【家族】

その他 変化はありましたか(日常会話・様子等)。

	オムツ交換のとき、体を固くしてしまうので交換しにくい。手がよく動くので邪魔をすることが多く、注意をそらすのが難しい。
43	私の配偶者が母の病気の理解が薄く、イライラしている。これからどうするか、どうなるか、結論ばかり聞かれ、かなり困っている。
44	介護者自身はないが、本人との会話が減り、仕事以外は話す相手が少ない。
46	日常会話は同じ言葉を繰り返し、こちらからの問いかけは理解できず、常に本人からの話だけで会話にならない。いつも時間が気になり、時計ばかり見ていた。服装はいつも同じ服で着替えず、散髪も行かず、ひげも剃らず、身だしなみができなかった。常に使っていたパソコンの操作もできなくなり、雨が降っても傘もささなかった。仕事に行くのに道順がわからなくなり家に帰ってきたこともあった。
47	言語障害なのか、早口なのか、聞き取りにくい。
48	今までより明るくなったが、その日の気分で陽になったり陰になったり、と毎日が大変である。
55	会話についてはできないことはないが、はずれる言葉が多くなってきた。物忘れが多くなってきた。疲れやすいようである。口に物を入れるときにこぼし、汚すことが多くなってきた。
59	母の父がアルツハイマーで亡くなっているため、初診では「こんな初期で来られるのは珍しい」と言われる。しかし、そこに行くまでも1年はかかっており、病気を受け入れられず、その後家族全員イライラが募り、あきらめの段階になり、初診から3年、病気に気付いてから4年、やっと受け入れられるようになった。
60	妻が文字は完全に忘れてしまい、言葉も忘れて、ウン、イヤ、おいしい、寒い、暑いなど言葉が少なくなり、聞いても答えなくなった。意思の疎通ができなくなり、会話が少なくなった。
61	症状が進むにつれてロレツが回らなくなり、話をするのはほとんどなくなった。ただ一点を見つめたまま何時間も同じ所でじっとしていることが増えていった。声をかけると、ピクッ!とする表情がたびたび見られた。
62	本人以外の家族の会話もこの生活がいつまで続くかわからない不安などで戸惑ってばかりいる。本人にとって一番どうしたらいいのか? これからの不安ばかり話すようになった。
63	話はほとんど通じない。食事、飲み物がうまく飲み込めない。
64	・歩き方がゆっくり(少しずつ)で腰も曲がってきた。 ・テレビを一日つけてみている。
65	最近本人と会話が少しできなくなってきた。徘徊もあるため、常に内側から鍵をかけたり、注意している。汚物(大便)を下着につけたり、少しでてきている(便秘気味もあり)。
66	たばこの火の不始末、徘徊があり、注意するとより不安定な状態になった。
71	発病から足かけ7年になるが、要支援から要介護2までに約4年、要介護3、4とは進むのが早く、今では認知症の一番重度のところまできていて、妻の顔も忘れていた。会話が成り立たない。
72	平成11年末に眼科受診時に急に視力の低下があり、眼科より一応脳のCTを撮ってもらうよう指示をされ、病院で写してもらったが、異状はないとのことだった。12年春風呂で意識不明となり病院入院(救急車で1週間調査結果薬が原因と思われるとのことで服用を中止した。朝食後意識不明3回発症した。 原因は食事による脳の血流が胃に降るため、即体を横に寝かすようにと指示を受け、3回目は自宅で横にして待って回復した時間はどれだけか?
75	先生や家族会の皆様に出会い、私だけではないことやいろいろなお話や経験談などを聞いて少しずつ落ち着いてきて、夫(病人)を看られるようになってきた。一人では何もできない、そばに誰かがいて一声声かけをしないと一日ボーっとしている。
76	つとめて旅行等に行くようにして(個人的でないといけないが)、楽しい会話、季節感のあること(花見・蛍・鯉のぼり・花火等)を感じるようにしている。
77	・きゅうり、人参等言葉がわからないことが多くなった。

【家族】

その他 変化はありましたか(日常会話・様子等)。

	<ul style="list-style-type: none">・歳暮を「しょうさい」、物語を「ぶつご」、と変な読み方をすることが多くなった。・場所を言ってもわかるころなのに「どこや」と言う。説明するとわかる。・せっかちになってきた。・ときどき感情的になって怒る(以前はなかった)。
78	寝たきりの状態から車椅子に座るようになり、リハビリを受け一日車椅子に乗ることにより意識がはっきりしてきた。言語療法で発語明瞭度も向上し、毎日のスケジュールをノートに書き、日付、時間の確認ができるようになった。新しい記憶はなかなか残らないが、ヒントを少し話すと思い出すようになった。
79	だんだん身の回りのことができなくなってきており、日常の会話もうなずくだけ。
80	本人との会話は説明した後からすぐ忘れるため、何度も繰り返して話しているが、会話にはならない。何かにつけ妻を頼っている。時にはうさいと言う。
81	今は 歩行できない、しゃべれない、食事が自分で取れない、寝たきりになっている。
82	H6 年アルツハイマーと診断されてから病状は急速に進み、H10 年秋頃には会話も困難になり、H12 年特養に入所するまでの在宅介護中に問題行動と言われる全てが現れた。徘徊、被害妄想、幻覚、幻聴、人物誤認、失禁、昼夜逆転(介護する方も寝られず困った)、暴言、暴力(夜間に大声を出すので一番対応するのに苦労した)、入所時点では車椅子生活になっていたが、わめくような大きな声が出ていた。
83	もの忘れがひどくなった。
90	1ヵ月位で耳が治った。病院で薬をもらって飲んでいたら知らない間に治っていた。
92	会話は自ら発することがなくなった。話しかければそれなりにイエス・ノーは言えるが、文章として自分の気持ちを伝えることはできなくなった。
93	この4年間の変化は大きい。言葉の理解力が衰え、通じないことは増えている。基本的な生活面での日常介助の日々である。
95	現時点では特によくもなし、悪くなっている様子でもない。
96	正直なるべく家にいるときは話題にしないようにしている。というのも、本当に私(妹)の家族には迷惑をかけっぱなしで、理解を得て・・・などということはとてもじゃないが言えない。けれども、嫁ぎ先の両親(同居している)、夫の姉夫婦も何も言わず、家を空けることが多くなった分助けてくれたり、楽しい時間を持つようにしてくれたり、とてもありがたい。子どもには事実のみ伝えている。正直驚いていた。
97	発病から10年になるが、デイサービスに行ってから規則正しい生活ができるようになった。
98	段階的に支障がでるようになっており、今は十分なコミュニケーションがとれない。
100	無意味な独語を話し、家族を含め会話は成り立たない状態。面会したとき、笑顔は示すが、誰であるか理解できているのかどうか確認できない。
101	最初は「こんなこともわからないのか！」と怒り口調で接していたが、怒れば余計に委縮させたり、納得させることはできないとわかったので、穏やかに話すようにとりあえずは心がけている。
102	日常は昼近くまで寝ている。服薬の管理ができない。排尿は行けるが、もらしているようで洗濯物が多く出る。食べるものが自分でできない。本人の独自の生活で過ごしている。勘違いで人の物を自分のものと思い込み持ち帰る。生活全般が困難。
103	家族はみなストレスがたまり、精神的に参っている。
104	現在本人は意欲がなく、あるといえば食欲のみである。会話は今見ているテレビのことくらいで、まともな会話は無い。孫が来ていても大声で怒鳴ったり、物を投げることもあり、目が離せない。
105	プライドが非常に高く、傷つけないよう言葉遣いなど気をつけなければならない。突然怒りだすことがあり、対応が難しい。
110	3つの医療機関をわたり歩き、現在は特別養護老人ホームへ入所中。なお介護度は5で、私(夫)を識別できない様子。
111	食事、着替え等自分でできなくなり、会話もほとんどできない。こちらが言いたいことを読み取って

【家族】

その他 変化はありましたか(日常会話・様子等)。

	る。歩行も困難になってきた。私が仕事に行っている間一人なので倒れたらそのまま起き上がれなくなっている。
112	少しずつ話すが、あまり変化は見られない。
113	本人は徐々に生活能力が落ちている。字もあやふやとなり、言葉ももつれるときがあり、自分から何かをするということができなくなった。
114	いろいろな興味のある本、ゲーム等にもあきっぽくなって、外出願望が強いため、位置情報サービスを利用し、家族がパソコンや携帯で居場所をチェックした。
115	ここ半年～1年で症状の変化が著しく、早く感じられる。特に精神的に不安定になった。悲しくなる、怒りっぽくなる(暴力的)。